

令和7年度 学校要覧



三重県立四日市中央工業高等学校

郵便番号 512 - 0925 三重県四日市市菅原町6 7 8 番地

TEL 代表 (059) 326 - 3100

FAX (059) 326 - 9523

〔教務・総務〕 326 - 9636

〔機械科〕 326 - 3102

〔進路指導室〕 326 - 9684

〔設備システム科〕 326 - 3105

〔生徒指導室〕 326 - 9692

〔電気科〕 326 - 9586

〔保健室〕 326 - 3141

〔化学工学科〕 326 - 9596

〔普通科〕 326 - 9618

〔都市工学科〕 326 - 9610

〔体育準備室〕 326 - 9642

URL <http://www.mie-c.ed.jp/tcyokk/>

三重県四日市中央工業高等学校校歌

作詞 山口誓子
作曲 大橋博

一、工部吾等を生じし

吾等工都を生かす

互いに生かすもの

相寄り一とせむ

四日市

中央工高

二、立つ山塊高く

行くよ水脈遠く

脊元を動かされ

流れて新なれ

四日市

中央工高

三、技術日に日に進み

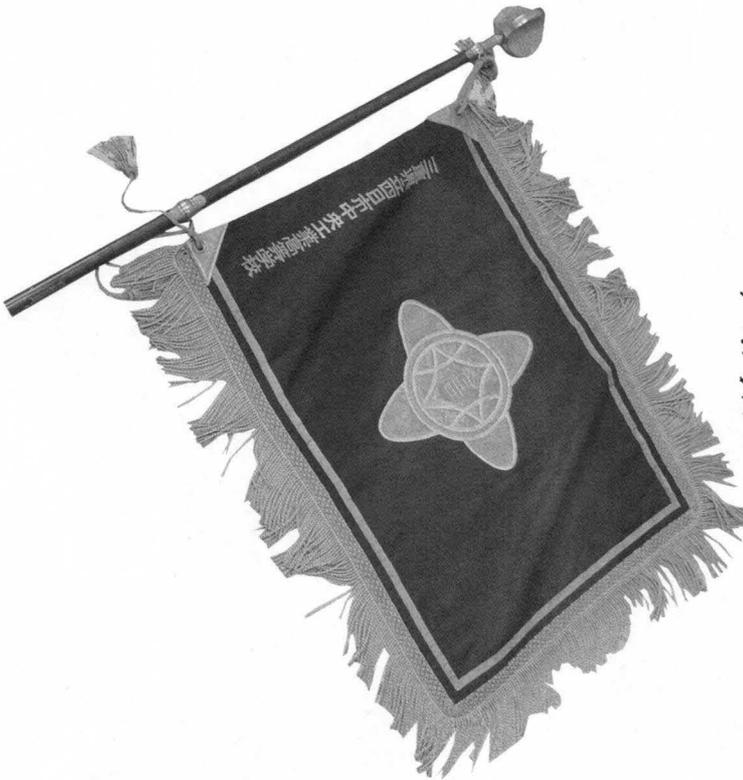
世界列しく変り

吾等の学の道

果なく違せり

四日市

中央工高



四日市中央工業高等学校 校歌

山口誓子 作詞
大橋博 作曲

行進曲風に

f

こ う と ・ わ れ ら を い か し わ れ ら こ う と を い か

mf

cresc

す た が い に い か す も の あ い よ り い つ と な る

cresc

f *dim*

よ つ か い ち ち ゃ う お う こ う こ う

f *dim*

校 訓

誠実・努力・親切



校 長 小 倉 礼

教育目標

豊かな人間性を備えた、たくましい工業技術者の育成をめざす。
この目標を達成するため、

- 学習者の視点に立ち、能力の伸長を図る。
- 人権尊重の精神に立ち、健全な心身の発達を図る。
- 確かな実践力を養成し、生きる力を育む。
- 生徒、保護者、地域の方々に信頼される工業高校を創る。

努力目標

1 基本的な生活習慣の育成

- (1)家庭と連携して生活リズムの確立を図る。
- (2)社会人として必要な礼儀とコミュニケーション能力を育成する。
- (3)集団の一員として行動できる力を身に付ける。
- (4)生徒の置かれた状況を理解し、保護者とともに生活指導を行う。

2 授業の充実

- (1)社会に通用する工業技術者の育成を目指して教育課程を編成する。
- (2)学習意欲向上を目指して、わかりやすい授業の実践に努める。
- (3)効果的な学習方法を研究し、継続的に授業改善に取り組む。
- (4)工業高校生としての知識・技能の向上を図り、資格取得に取り組む。

3 クラブ活動の充実と発展

- (1)豊かな人間性と健全な心身の育成を基礎にクラブ活動を実践する。
- (2)充実した高校生活を過ごせるようクラブ活動を奨励する。

4 人権教育の推進

- (1)人権感覚あふれる学校づくりに努める。
- (2)生徒を主体として、地域と連携した人権教育を推進する。
- (3)人権問題に対する正しい認識を深めるため、研修に努める。

5 進路指導の充実

- (1)生徒一人ひとりの個性や能力を生かした進路実現に努める。
- (2)地域社会と連携してキャリア教育の充実を図る。
- (3)進路希望実現の観点からも、基礎学力とコミュニケーション能力の向上に努める。

6 環境の整備

- (1)だれもが気持ちよく活動できる学校とするため、施設・設備を整え、環境美化に努める。
- (2)環境負荷を低減するため、ゴミの減量、分別、リサイクルに努める。
- (3)正しい倫理観に基づいた環境教育の実践に努める。

沿革

創立 昭和37年4月1日

設置課程 全日制

- 昭和37年 3月27日 三重県教育委員会告示第21号を以って、昭和37年4月1日付
三重県立四日市南工業高等学校を四日市市に設置する旨告示される。小谷正美学校長に就任。
四日市市立富洲原小学校の一部を仮校舎に定める。
- 昭和37年 4月16日 開校式挙行。
- 昭和37年 6月 8日 校地を四日市市神前菅原町に定める。
- 昭和37年11月29日 起工式を行う。
- 昭和38年 3月30日 第一期工事完成(本館 2,310㎡、実習室 1,930㎡)。
- 昭和38年 4月 8日 新校地菅原町に移転。三重県立四日市中央工業高等学校と改名。
- 昭和39年 3月17日 第二期工事完成(本館 1,610㎡、実習室 1,880㎡)。
- 昭和40年 4月 1日 花実龍堂学校長に就任。
- 昭和40年 5月31日 図書館、視聴覚教室(415㎡)完成。
- 昭和41年 2月14日 格技場(340㎡)完成。
- 昭和42年 3月 4日 体育館(1,220㎡)完成。
- 昭和42年10月30日 落成式を挙行。
- 昭和44年 4月 1日 小亀定一学校長に就任。
- 昭和45年 4月 1日 長谷川道夫学校長に就任。
- 昭和45年 8月 7日 体育館竣工。
- 昭和45年10月24日 電気科に県下初のコンピュータ(沖タック)を購入し情報技術教育を始める。
- 昭和46年12月 8日 クラブハウス竣工(150.88㎡)。
- 昭和47年 8月 7日 ウェイトリフティング室竣工(200㎡)。
- 昭和47年11月 7日 本校創立十周年記念行事挙行。
- 昭和47年11月25日 北岡正学校長に就任。
- 昭和48年 7月30日 プール竣工。
- 昭和49年 4月 8日 入学定数土木科80名になる。
- 昭和50年 4月 1日 本石独芳学校長に就任。
- 昭和50年 4月15日 新館校舎完成。
- 昭和50年11月 1日 三重県教育委員会より教育優良校として学校表彰を受ける。
- 昭和52年 4月 1日 山川正文学校長に就任。
- 昭和54年 3月31日 化学工学実習棟増築竣工。
- 昭和54年 4月 1日 角谷茂夫学校長に就任。
- 昭和56年 4月 1日 中村正邦学校長に就任。
- 昭和57年11月19日 体育館竣工。
- 昭和59年 3月 8日 土木科実習棟竣工。
- 昭和59年 4月 1日 川添博学校長に就任。
- 昭和59年11月 1日 三重県教育委員会より教育優良校として学校表彰を受ける。
- 昭和61年 2月10日 トレーニングハウス竣工(250㎡)。
- 昭和61年 4月 1日 小川仁男学校長に就任。
- 昭和63年 3月31日 機械科実習棟竣工、自動制御実習装置設備。
- 昭和63年 4月 1日 葛山博次学校長に就任。
- 平成 2年 4月 1日 小田海平学校長に就任。
- 平成 3年10月26日 本校創立三十周年記念行事挙行。
- 平成 4年 3月31日 機械科実習西棟竣工。家庭科教室、情報教室も併設する。
- 平成 5年 3月31日 クラブハウス竣工(203.7㎡)。
- 平成 5年 4月 1日 小西明夫学校長に就任。

平成 6年 3月31日 機械科にCNC旋盤とCAD、土木科にCAD導入。
平成 7年 3月31日 本館、電気科棟、化学工学科棟、図書館の外壁修理工事完工。
平成 9年 4月 1日 設備システム科設置。入学定数電気・土木科40名になる。仲林一成学校長に就任。
平成10年 3月24日 設備システム棟・屋内プール竣工。
平成13年 4月 1日 高瀬進学校長に就任。
平成14年 7月16日 武道場竣工。
平成17年 4月 1日 渡辺祐治学校長に就任。
平成19年 4月 1日 土木科を都市工学科に改編する。
平成21年 4月 1日 寺田卓二学校長に就任。
平成23年12月10日 本校創立五十周年記念行事挙行。
平成24年 3月14日 実習重機車庫棟竣工(90.7㎡)。
平成24年10月16日 屋外便所(同窓会寄贈)竣工。
平成25年 4月 1日 渋谷順市学校長に就任。
平成27年 3月28日 サッカーグラウンド人工芝竣工。
平成30年 4月 1日 岡村芳成学校長に就任。
令和 元年 5月 1日 普通教室にエアコン設置。
令和 2年 4月 1日 機械科40名になる。
令和 3年 1月31日 普通教室にICT環境整備。
令和 4年 4月 1日 吉本進学校長に就任。
令和 6年 4月 1日 小倉礼学校長に就任。

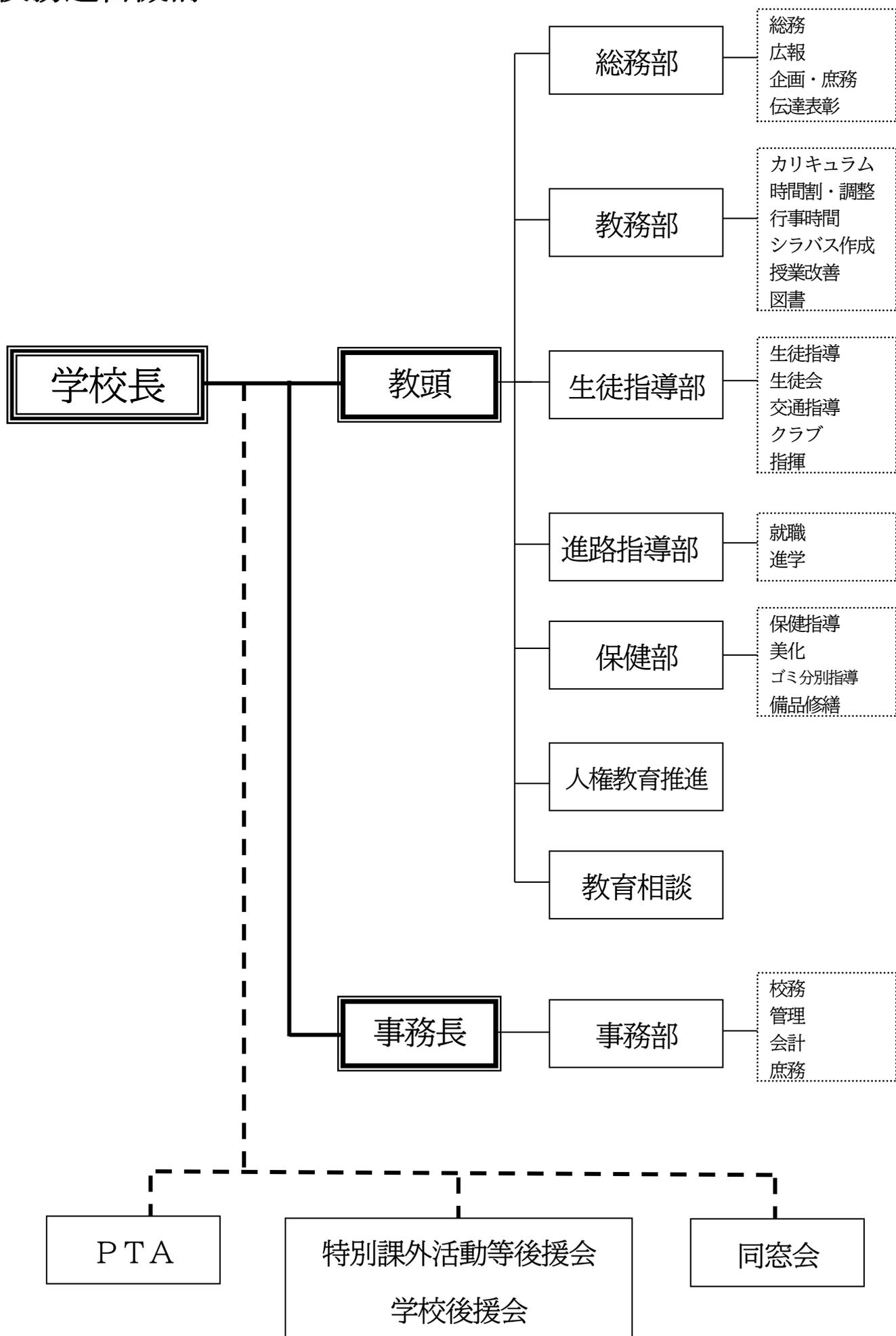
設置学科

機械・設備システム・電気・化学工学・都市工学

土地・施設

1. 土地	51,924㎡
校舎敷地	19,191㎡
運動場敷地	32,733㎡
2. 施設	20,011㎡
管理教室棟I・II	4,865㎡
実習棟	9,593㎡
体育館	1,337㎡
図書館	428㎡
武道場	345㎡
トレーニング室	250㎡
屋内プール	971㎡
その他	2,222㎡

校務運営機構



令和7年度 実施教育課程表

<普通教科、週当たり授業時間数等>

教科	科目	標準 単位数	1 年	2 年		3 年		
				コース別		コース別		
				工業 専門	大学 進学	工業 専門	文系 進学	理系 進学
国語	現代の国語(必)	2	2					
	言語文化(必)	2		2	2			
	文学国語	4			2		2	
	国語表現	3				2	2	2
地理歴史	地理総合(必)	2		2	2			
	歴史総合(必)	2				2	2	2
公民	公共(必)	2	2					
	政治・経済	2					2	
数学	数学Ⅰ(必)	3	3					
	数学Ⅱ	4		2	2	2	2	2
	数学A	2			2			
	数学B	2						2
理科	科学と人間生活(必)	2				2	2	2
	物理基礎	2		2	2			2
	化学基礎(必)	2	2					
保健体育	体育(必)	7・8	3	2	2	3	3	3
	保健(必)	2	1	1	1			
芸術	美術Ⅰ(必)	2	2					
外国語	英語コミュニケーションⅠ(必)	3	2					
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	2	2	2
家庭	家庭基礎(必) ※1	2		2	2			
	家庭総合(必) ※2	4		2	2	2	2	2
共通科目の単位数の計 ※3			17	15	19	13 (15)	19 (21)	19 (21)
工業	専門科目 ※3		12	14	8	16 (14)	10 (8)	10 (8)
英語	エッセイライティングⅠ	2~4			2		2	2
専門科目の単位数の計			12	14	10	16 (14)	10 (8)	10 (8)
特別活動	ホームルーム活動		1	1		1		
総合的な学習活動の時間		3~6	専門科目「課題研究」において、すべて代替する。					
週当たり授業時数			30	30		30		

- ※1 家庭基礎は機械科、電気科、化学工学科、都市工学科の生徒が履修する。
 ※2 家庭総合は設備システム科の生徒のみが2年次および3年次に履修する。
 ※3 ()内の数字が設備システム科の単位数である。
 ※4 教科「情報Ⅰ」については、第1学年専門科目「工業情報数理」において代替する。

<各工業科の概要と専門科目>

○機械科

目標：産業界の現状を踏まえ基礎基本を重視し、ものづくりを通して人間性豊かな産業界の要求に応えられる幅広い知識をもった機械技術者の育成を目標としている。教育内容は基礎的な実験・実習にはじまり、機械設計・機械工作から計測制御・エレクトロニクス関係に至るまでの専門教科を課し、CNC工作機械、コンピュータ、産業用多関節ロボット、統合的PLC制御システム等の新しい機器を導入して、最新の技術の進歩に十分即応できるよう指導している。

			1年	2年		3年	
				専門コース	進学コース	専門コース	進学コース
機械科 専門科目	工業技術基礎	2～4	3				
	課題研究	2～6				3	3
	実習	4～14		4	4	4	4
	製図	2～12	3	2	2	3	3
	工業情報数理(※4)	2～6	2				
	機械工作	2～8	2	2		2	
	機械設計	2～8	2	2	2	2	
	原動機	2～4		2		2	
電気回路	2～8		2				
専門科目の単位数の計			12	14	8	16	10

○設備システム科

目標：工業における総合学科の位置づけで幅広い分野を学習し、ビルマネジメントに関する全般知識を養う事を目標としている。また、生徒1人ひとりの能力、適性、興味、関心に対応して個性豊かな人間性を養うと同時に、コミュニケーション能力、課題解決能力を養い、心豊かで想像力・実践力のある生徒を育てることを目標にしている。

			1年	2年		3年	
				専門コース	進学コース	専門コース	進学コース
設備 システム科 専門科目	工業技術基礎	2～4	3				
	課題研究	2～6				3	3
	実習	4～14	3	3	3	5	5
	製図	2～12		2	2		
	工業情報数理(必)	2～4	2				
	機械工作	2～8		2			
	機械設計	2～8	2				
	電気回路	2～8		2			
	コンピュータシステム技術	2～8				2	
	建築構造	2～6		2			
	建築計画	2～8				2	
	設備計画	2～6	2				
	空気調和設備	2～8		3	3		
衛生・防災設備	2～8				2		
専門科目の単位数の計			12	14	8	14	8

※ 設備システム科は科内コース制を実施するため、専門コースが2つに分かれる。

○電気科

目標：生産設備の自動化、コンピュータ化が今後さらに進展する。そのような社会ではITの知識を持つ電気技術者が求められている。電気技術者に必要な基礎知識を理解し、時代のニーズに合わせたIT関連の知識を持った電気技術者の養成を目標としている。そのカリキュラムは、電気基礎、電気機器、電力技術、電子技術、電子計測制御等の学習をする。また、実習、製図、CADなどの実技科目も学習し、これらの授業を通して電気主任技術者や電気工事士、工事担任者等の国家資格取得に必要な知識を習得する。

			1年	2年		3年	
				専門コース	進学コース	専門コース	進学コース
電気科 専門科目	工業技術基礎(必)	2～4	3				
	課題研究(必)	2～6				3	3
	実習	4～14	3	4	4	3	3
	製図	2～12				2	2
	工業情報数理(必)	2～4	2	2	2		
	電気回路	2～8	4	2	2	2	2
	電気機器	2～6		2		2	
	電力技術	2～6		2		4	
電子技術	2～6		2				
専門科目の単位数の計			12	14	8	16	10

○化学工学科

目標:化学工業に携わる技術者(エンジニア)として必要とされる基礎的な知識および技能を習得する。専門科目では工業化学、化学工学、地球環境化学、生産システム技術などを学び、実習や課題研究につなげている。実習では、化学分析、合成、ものづくり、リサイクル、コンピュータ処理、機器分析をおこない、地元の四日市コンビナートの変化や情報化社会に柔軟に対応できるよう危険物取扱者(乙種、甲種)などのライセンスを取得する。

			1年	2年		3年	
				専門コース	進学コース	専門コース	進学コース
化学工学科 専門科目	工業技術基礎(必)	2~4	4				
	課題研究(必)	2~6				4	4
	実習	4~14		6	6	4	4
	工業環境技術	2~10	2				
	工業情報数理(必)	2~4	2				
	工業材料技術	2~4		2			
	生産技術	2~6		2			
	工業化学	4~12	2	2	2	2	2
	工業管理技術	2~8				2	
	化学工学	2~6	2	2		2	
地球環境化学	2~6				2		
専門科目の単位数の計			12	14	8	16	10

○都市工学科

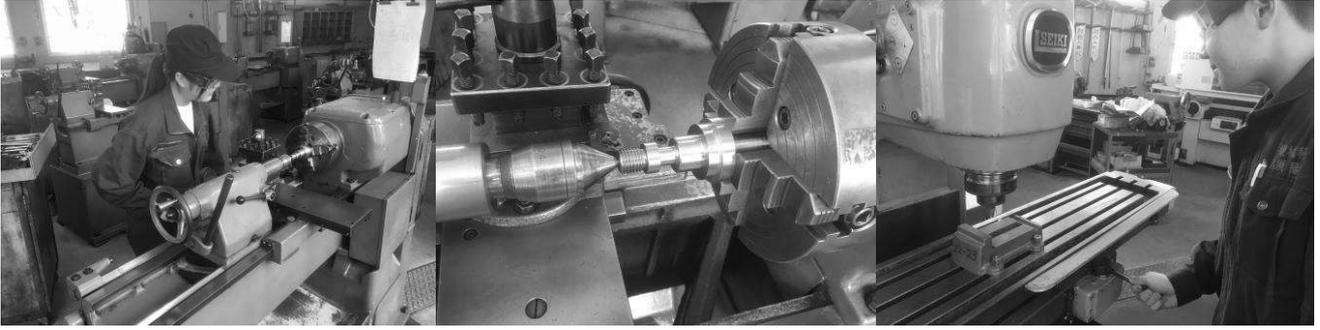
目標:都市工学科では自然環境と人間が共存できる都市空間の創造、人が安全でやすらぎのある快適な生活をするための住空間が創造できるようになるための基礎を学習し社会のニーズにこたえられる心豊かで想像力・実践のある生徒を育てることをめざしている。

			1年	2年		3年	
				専門コース	進学コース	専門コース	進学コース
都市工学科 専門科目	工業技術基礎(必)	2~4	3				
	課題研究(必)	2~6				3	3
	実習	4~14	3	5	5	5	3
	製図	2~12		2			
	工業情報数理(必)	2~4	2				
	工業環境技術	2~4				2	
	建築施工	2~6				2	
	測量	2~6	2	2			
	土木基盤力学	2~6				2	2
	土木構造設計	2~8		3	3		
土木施工	2~6	2	2				
社会基盤工学	2~4				2	2	
専門科目の単位数の計			12	14	8	16	10

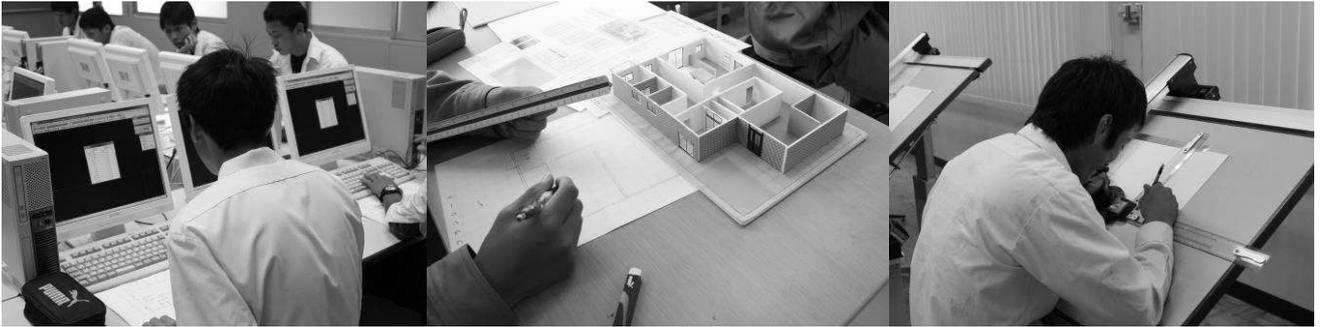
※(学)の科目は学校設定科目

各学科の写真

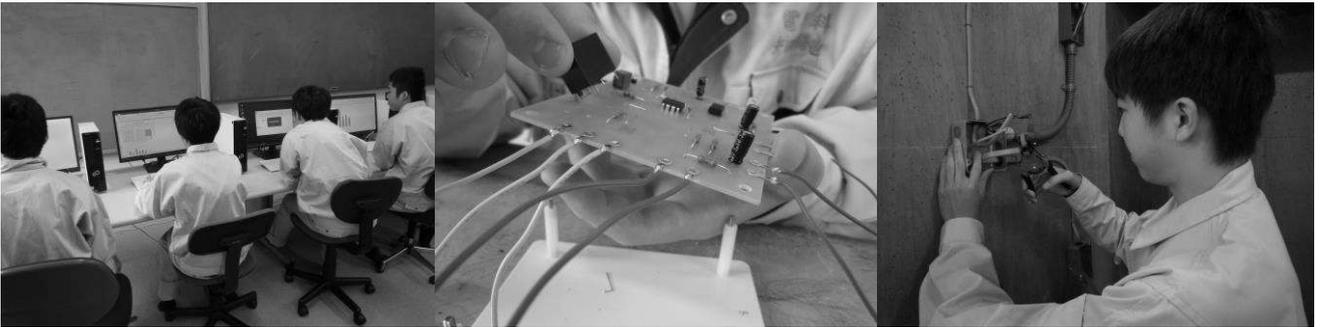
機 械 科



設備システム科



電 気 科



化 学 工 学 科



都 市 工 学 科



学級数と在籍数

科名	学級数	定員	在籍数 ()内女子							
			1年		2年		3年		計	
機械	3	120	40	(1)	36	(1)	37	(1)	113	(3)
設備システム	3	120	40	(1)	39	(4)	38	(3)	117	(8)
電気	3	120	40	(1)	39	(1)	33		112	(2)
化学工学	3	120	40	(1)	40	(2)	31	(2)	111	(5)
都市工学	3	120	40	(1)	35	(2)	35	(1)	110	(4)
計	15	600	200	(5)	189	(10)	174	(7)	563	(22)

出身中学

市町村名	中学校名	1年生	2年生	3年生	合計	市町村名	中学校名	1年生	2年生	3年生	合計	
桑名市	成徳	0	3	0	3	川越町	川越	5	1	1	7	
	明正	0	1	0	1		神戸	1	3	1	5	
	光風	1	0	0	1		大木	0	1	0	1	
	正和	0	1	0	1		千代崎	1	0	1	2	
	陵成	1	1	0	2		鈴鹿市	白子	3	2	1	6
	光陵	2	1	0	3		鈴峰	1	2	1	4	
	多度	0	1	0	1		鼓ヶ浦	2	1	8	11	
いなべ市	長島	2	1	0	3	創徳	1	0	1	2		
	北勢	0	2	0	2	亀山市	中部	0	1	0	1	
	員弁	1	0	0	1	西橋内	0	1	0	1		
	大安	3	2	4	9	久居	0	1	1	2		
東員町	藤原	0	0	1	1	津市	久居西	0	1	0	1	
	東員第一	1	1	1	3	久居東	0	1	0	1		
四日市市	東員第二	0	0	1	1	松阪市	鎌田	0	1	0	1	
	中部	3	2	5	10		久保	0	0	1	1	
	橋北	2	2	2	6		三雲	0	2	0	2	
	港	2	2	0	4		飯高	1	0	0	1	
	塩浜	0	1	3	4	伊勢市	倉田山	0	1	0	1	
	山手	8	14	6	28		五十鈴	0	0	1	1	
	富洲原	2	1	1	4	大紀町	大宮	0	1	1	2	
	富田	2	0	4	6	志摩市	文岡	0	1	0	1	
	笹川	13	6	12	31	熊野市	木本	0	2	0	2	
	南	8	1	3	12	紀宝町	矢渕	0	0	1	1	
	西陵	1	5	3	9	紀北町	紀北	2	0	0	2	
	三滝	7	18	17	42							
	大池	17	22	15	54							
	朝明	8	4	6	18							
	保々	6	3	1	10							
	常磐	8	9	9	26							
	西笹川	1	3	2	6							
	三重平	8	5	4	17	青森県		0	0	1	1	
	羽津	6	9	5	20	茨城県		0	1	0	1	
	西朝明	4	6	1	11	埼玉県		1	0	0	1	
桜	9	6	3	18	千葉県		0	1	1	2		
内都	9	6	6	21	石川県		0	1	1	2		
楠	3	0	3	6	静岡県		2	1	2	5		
暁学園暁	1	0	0	1	愛知県		7	2	4	13		
菰野町	菰野	19	11	18	48	滋賀県		1	0	0	1	
	八風	12	8	9	29	大分県		1	0	0	1	
朝日町	朝日	1	2	1	4	合計		200	189	174	563	

令和6年度生徒進路状況

令和7年3月31日現在

(1) 求人状況

年 度		R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
求人会社数	県内	511	525	679	716	619
	県外	265	265	270	275	215
	合計	776	790	949	991	834
求人数	県内	878	751	865	951	1,062
	県外	302	280	322	357	382
	合計	1,180	1,031	1,187	1,308	1,444

(2) 各種分類別内定状況

		機械	設備システム	電気	化学工学	都市工学	計
生徒数	男子	38	38	38	37	38	189
	女子	1	1	0	1	0	3
	計	39	39	38	38	38	192
就職	職安扱	30	26	27	32	24	139
	公務員	0	0	0	0	5	5
	縁故・自営等	0	0	5	0	1	6
	計	30	26	32	32	30	150
地区	県内	22	22	31	30	29	134
	県外	8	4	1	2	1	16
産業別就職（職安扱）	農・林・漁業	0	0	0	0	0	0
	鉱業	0	1	0	0	0	1
	建設業	1	2	5	0	12	20
	製造業	22	19	19	30	7	97
	電気・ガス等・熱供給・水道業	3	1	0	0	1	5
	情報通信業	0	0	0	0	0	0
	運輸業・郵便業	2	0	1	1	2	6
	卸売・小売業	0	1	0	0	1	2
	金融業・保険業	0	0	0	0	0	0
	不動産業・物品賃貸業	0	0	0	0	0	0
	学術研究、専門・技術サービス業	1	1	0	1	0	3
	宿泊業・飲食サービス業	0	0	0	0	0	0
	生活関連サービス業・娯楽業	0	1	0	0	0	1
	教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0
	医療・福祉	0	0	0	0	0	0
	複合サービス事業	0	0	0	0	1	1
	サービス業	1	0	2	0	0	3
	公務、その他	0	0	0	0	0	0
	計	30	26	27	32	24	139
進学	大学	7	11	4	6	5	33
	短大	0	0	0	0	0	0
	専門職大学	0	0	0	0	0	0
	専門学校	1	2	2	0	3	8
	職業訓練施設	0	0	0	0	0	0
	高校専攻科	0	0	0	0	0	0
	浪人	1	0	0	0	0	1
	計	9	13	6	6	8	42
その他	0	0	0	0	0	0	

クラブ活動栄光の歴史

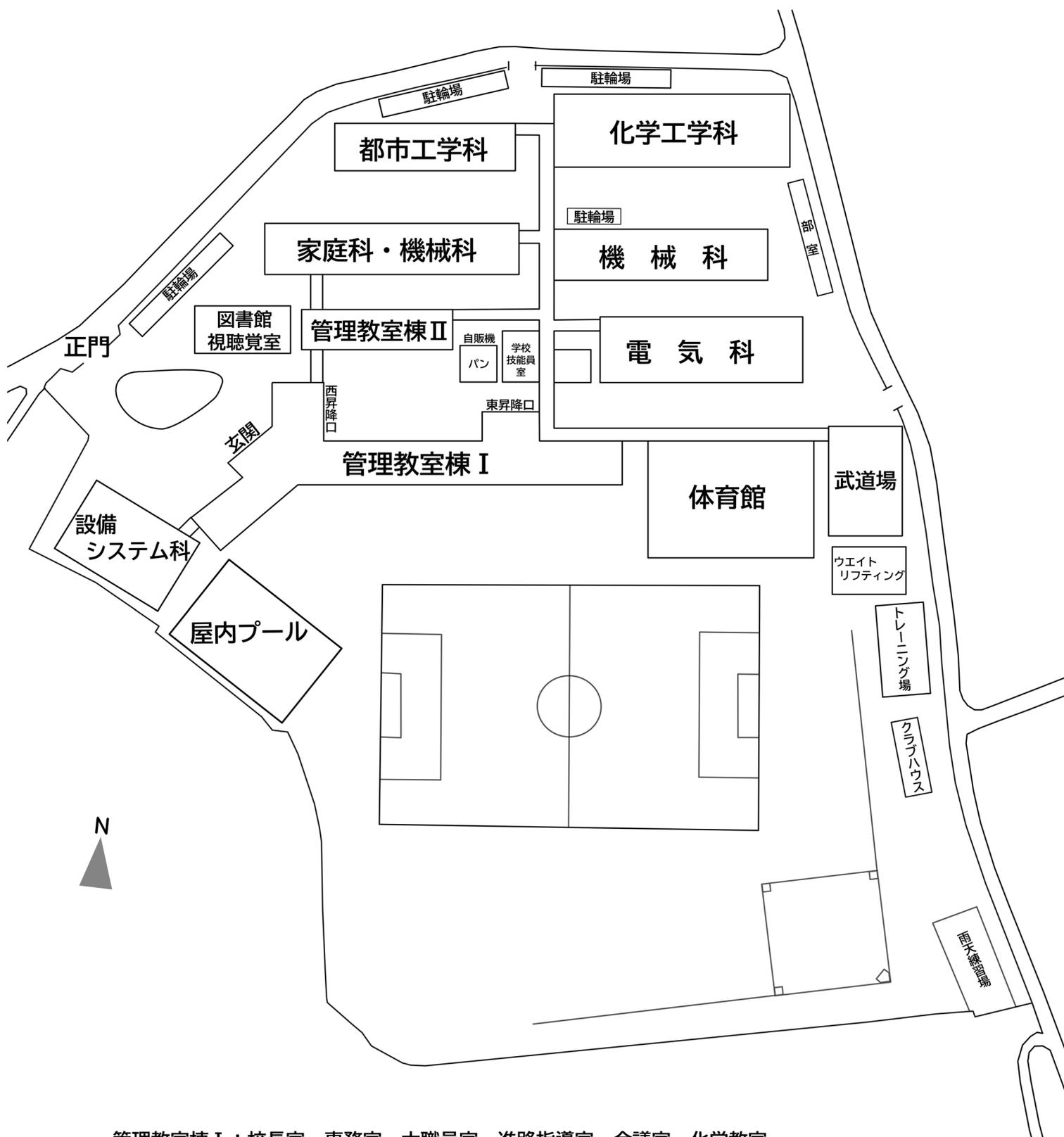
- 昭和48年度 全国高校サッカー選手権大会 バスト4
全国高校総体ウエイトリフティング競技 フェザー級優勝 近藤信明
- 昭和50年度 全国高校総体ウエイトリフティング競技 団体優勝
国民体育大会（三重国体）水球競技 第2位
- 昭和51年度 全国高校総体ウエイトリフティング競技 団体準優勝 フェザー級優勝 山口秀夫
- 昭和52年度 全国高校総体ウエイトリフティング競技 団体準優勝 82.5kg 級優勝 鈴木邦治
全国高校サッカー選手権大会 準優勝
- 昭和53年度 全国高校総体水球競技 バスト4
- 昭和54年度 全国高校総体ウエイトリフティング競技 団体準優勝
- 昭和55年度 全国高校総体柔道競技 優勝 上原隆司
- 昭和58年度 全国高校総体サッカー競技 優勝
全国高校サッカー選手権大会 第3位
- 昭和59年度 全国高校総体サッカー競技 優勝（二連覇）
- 昭和60年度 全国高校サッカー選手権大会 準優勝
- 昭和62年度 全国高校サッカー選手権大会 第3位
- 昭和63年度 全国高校総体ウエイトリフティング競技 82.5kg 級優勝 戸田 晃
- 平成 3年度 全国高校サッカー選手権大会 優勝
全国高校総体サッカー競技 第3位
- 平成 5年度 全日本ロボット相撲全国大会 ラジコン型 準優勝
- 平成 6年度 全国高校総体柔道競技 第3位 出口裕二
- 平成 7年度 全国ソーラーラジコンカーコンテスト 第3位
- 平成 8年度 全国高校柔道選手権大会女子個人 第3位 渡辺千恵・山手奈里子
- 平成10年度 サッカー部OB中西永輔（平成3年度機械科卒）フランスワールドカップ日本代表
全国ソーラーラジコンカーコンテスト 第3位
- 平成11年度 全国ソーラーラジコンカーコンテスト 準優勝
- 平成12年度 全国ソーラーラジコンカーコンテスト 第3位
全日本ロボット相撲全国大会 ラジコン型 優勝 文部科学大臣賞
水球部OB川口雅史（平成10年度機械科卒）シドニー五輪予選兼アジア選手権出場
- 平成13年度 高校生ロボット相撲全国大会 ラジコン型 優勝 文部科学大臣賞
JOC全国大会水球競技 第3位
水球部OB川口智央（平成7年度機械科卒）世界水泳選手権出場
全国高校総体ウエイトリフティング競技 105kg 超級優勝 伊藤敬太
- 平成14年度 高校生ロボット相撲全国大会 自立型 第3位
- 平成15年度 サッカー部OB坪井慶介（平成9年度電気科卒）FIFA コンフェデレーションズ カップ 日本代表
全日本ロボット相撲全国大会 ラジコン型 優勝
高校生ロボット相撲全国大会 ラジコン型 優勝・準優勝 文部科学大臣賞
自立型 優勝・準優勝 文部科学大臣賞
水球部OB太田育臣（平成14年度設備科卒）FINA ジニア世界選手権日本代表
ロボリンピック世界ロボット競技会 ロボット相撲 金・銀・銅メダル
- 平成16年度 サッカー部OB鈴村拓也（平成8年度土木科卒）フットサルアジア大会日本代表
全国高校ウエイトリフティング選抜大会 女子 75kg 超級優勝 井上佐織
全日本ロボット相撲全国大会 自立型 優勝 ラジコン型 優勝
- 平成17年度 全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 女子 75kg 級優勝 井上佐織
水球部OB森下隆秀（昭和60年機械科卒）、トリアスロン世界選手権6位入賞
全日本ロボット相撲全国大会 自立型 優勝
- 平成18年度 ウエイトリフティング全国高校女子選手権大会 75kg 級優勝 井上佐織
秋田わかすぎ国体記念杯女子ウエイトリフティング競技会 75kg 級優勝 井上佐織
48kg 級優勝 伊藤奈央
全日本ロボット相撲全国大会 自立型 優勝 ラジコン型 優勝
全国高校女子ウエイトリフティング選手権大会 48kg 級優勝 伊藤奈央

- 平成19年度 全国高校女子ウエイトリフティング選手権大会 48kg級優勝 伊藤奈央
大分国体記念杯女子ウエイトリフティング競技会 48kg級優勝 伊藤奈央
全国高校ウエイトリフティング選抜大会 48kg級優勝 伊藤奈央
- 平成20年度 全日本ロボット相撲大会ラジコン型 1位2位3位
高校生ロボット相撲全国大会 ラジコン型部門 優勝 自立型部門 優勝
トキめき新潟国体記念杯女子ウエイトリフティング競技会 48kg級優勝 伊藤奈央
- 平成21年度 ロボット研究部 ものづくり大賞総理大臣賞受賞
高校生ロボット相撲全国大会ラジコン型優勝
- 平成22年度 水泳部 全国総体水球競技3位
全国高等学校水球競技 最優秀選手賞1名、優秀選手賞3名受賞
全国高校総体柔道競技 73kg級準優勝 木原啓伸 100kg級第3位 清水将
柔道部0B 大西森(平成19年度化学工学科卒)世界柔道選手権大会2010 60kg級 出場
- 平成23年度 全国高校サッカー選手権大会 準優勝
全国高校総体水球競技 4位
Ene-1 GP 優勝
高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会 3位
高校生ロボット相撲全国大会 ラジコン型 3位
- 平成24年度 Ene-1 GP 高校生部門 準優勝
高校生ロボット相撲全国大会 自立型 優勝・準優勝 ラジコン型 優勝
- 平成25年度 全国高校サッカー選手権大会 3位
全日本カデ柔道体重別選手権大会 55kg級 3位 羽田野 航
全国高校総体柔道競技 66kg級 3位 木戸清孝
ドイツプレーメン柔道国際大会 5位 木戸清孝
Ene-1 GP 高校生部門 準優勝
高校生ロボット相撲全国大会 自立型 優勝・準優勝 ラジコン型 優勝
- 平成26年度 全国高校ウエイトリフティング選抜大会 個人53kg級 クリーン&ジャーク3位 小林 肇
全日本カデ柔道体重別選手権大会 個人55kg級 2位 羽田野 航
全国高校総体柔道競技 66kg級 3位 木戸清孝
アジアカデ・ジュニア柔道選手権大会 55kg級 優勝 羽田野 航
高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会 3位
- 平成27年度 全国高校総体ウエイトリフティング競技 69kg級スナッチ2位 黒宮 広行
全日本カデ柔道体重別選手権大会 個人81kg級 2位 堤 大志
全国高校総体柔道競技 個人60kg級準優勝 羽田野 航、100kg超級3位 佐野 世純
ロボット相撲世界大会 自立型 ベスト8
高校生ロボット相撲全国大会 自立型 優勝
- 平成28年度 国民体育大会ウエイトリフティング競技 69kg級スナッチ3位 駒田 雅希
全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 77kg級 2位 清水 晶
高校生ロボット相撲全国大会 自立型 優勝
全日本ロボット相撲全国大会 自立型 3位
- 平成29年度 全国高校総体柔道競技 個人男子66kg級優勝 井上拓茉
エクサプロヴァンヌジュニア国際大会(フランス)日本代表 個人男子66kg級3位 井上拓茉
アジアエージ選手権水球競技 日本代表 優勝 山田 祥平
全国高校選抜大会ウエイトリフティング競技 男子個人77kg級トータル2位 清水 晶
国民体育大会ウエイトリフティング競技 男子個人77kg級 クリーン&ジャーク3位 清水 晶
高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会 準優勝
- 平成30年度 全日本カデ柔道体重別選手権大会 個人81kg級 3位 菅野 浩輝
高校生ロボット相撲全国大会 自立型 3位
第3回ジュニア世界空手道選手権大会 14・15歳男子55kg以上 優勝 山中 拓
全日本ジュニア(U17)水球競技選手権 準優勝
- 令和 元年度 全国高校総体柔道競技男子個人60kg級 3位 城野 琉来
全日本ロボット相撲全国大会 自立型 3位
- 令和 2年度 第7回全日本ジュニア(U17)選手権水球競技大会 優勝
- 令和 3年度 全国高校総体水球競技 優勝

- 令和 5年度 特別国民体育大会ウエイトリフティング競技 少年の部 67 kg級スナッチ 優勝 田島 佳
 特別国民体育大会ウエイトリフティング競技 少年の部 67 kg級クリーン&ジャーク 2位 田島 佳
 特別国民体育大会ウエイトリフティング競技 少年の部 81 kg級クリーン&ジャーク 3位 田島 宗
 全国高校総体ウエイトリフティング競技 67 kg級スナッチ 3位 田島 佳
 全国高校総体ウエイトリフティング競技 81 kg級クリーン&ジャーク 3位 田島 宗
 全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 81 kg級クリーン&ジャーク 1位 田島 宗
 全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 81 kg級トータル 2位 田島 宗
 全国高校総体水球競技 準優勝
 特別国民体育大会水球競技 優勝
 第10回全日本ジュニア(U17)選手権水球競技大会 3位
- 令和 6年度 国民スポーツ大会ウエイトリフティング競技 少年の部 81 kg級スナッチ 3位 田島 宗
 国民スポーツ大会ウエイトリフティング競技 少年の部 81 kg級クリーン&ジャーク 3位 田島 宗
 全国高校総体ウエイトリフティング競技 81 kg級クリーン&ジャーク 2位 田島 宗
 全国高校総体ウエイトリフティング競技 81 kg級トータル 3位 田島 宗
 全日本ジュニアウエイトリフティング競技選手権 81 kg級スナッチ 2位 田島 宗
 全日本ジュニアウエイトリフティング競技選手権 81 kg級クリーン&ジャーク 2位 田島 宗
 全日本ジュニアウエイトリフティング競技選手権 81 kg級トータル 2位 田島 宗
 全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 81 kg級スナッチ 1位 田島 宗
 全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 81 kg級クリーン&ジャーク 1位 田島 宗
 全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 81 kg級トータル 1位 田島 宗
 全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会 73 kg級クリーン&ジャーク 3位 高野 海翔

部活動	体育系	野球、サッカー、陸上、柔道、剣道、水球、卓球、ウエイトリフティング バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン
	文化系	放送、理科、美術、将棋、料理研究
	生産系	木工、ロボット研究
同好会	体育系	バスケットボール(女子)
	生産系	ものづくり

学校施設配置図



管理教室棟Ⅰ：校長室・事務室・大職員室・進路指導室・会議室・化学教室
物理教室・社会科教室・美術室・選択教室

管理教室棟Ⅱ：保健室・生徒指導室・普通科職員室・教育相談室・選択教室・製図室

校章



校章は学校の象徴として尊重する。

学校の所在を明らかにするため四日市の市章をとりいれ、その特徴として徳力と工業技術を表現したものである。

地球を象ったマルは円満な人間像の理想を描き、それに科学時代に即応する宇宙軌道を配して校名の中央になぞらえ、常に心理の探究に志し、躍動している姿にしたものである。

中央の高は高き希望に輝き団結した親和の学園を象徴している。

全体として静動の気を兼ね備え、和やかな校風の中から若人達が工業界に雄飛する姿を表わすものである。